



新聞まさひこ通信

あけぼの曙

公明党福岡県議団 会報

発行責任者
福岡県議会議員
新開昌彦

福岡市早良区曙 2-1-35
Vol.47号 平成22年 11月18日発行

県政報告

9月補正予算が成立

9月定例議会が9月17日から10月8日まで開かれ259億2900万円の補正予算が可決成立しました。

主な内容は、緊急雇用創出事業として37億2400万円。景気を下支えする公共事業として総予算の84%を超える、218億2900万円が計上されました。

中小の地元企業の皆さんから景気対策を何よりも重視して行うべきとの強い要望があります。

補正予算の主な内容 (単位 百万円)

緊急雇用創出事業	3,724
・ 新卒者緊急就職応援費	594
・ 看護師職場復帰支援費	256
・ 市町村緊急雇用対策助成費 他	2,000
景気を下支えする公共事業	21,829
・ 学校、病院、社会福祉施設等の耐震防災対策	7,061
・ 道路、河川の防災対策	5,573
・ 信号のLED化、通学路整備等の交通安全対策	4,309
・ 都市間アクセス道路の整備	3,744
・ 農地、森林、魚場の整備	999
・ 教育・文化施設の設備更新	143

自動車運転免許証の更新を

どの警察署でも実施可能にすべし！

一般質問 平成21年から始まったICカードの運転免許証交付は、4年のうちに全ての免許証がIC化されます。更新申請書の自動化や海外での利用など多くのメリットがある。

県内の免許保有者は、318万8583人で、毎年約70万件的免許証が更新され、その約半数がゴールド免許の保有者。

県内8箇所の遠隔地警察署の更新条件である「管内居住者に限る」との条件をなくす。将来的には、どこの警察署でも更新できるような環境整備すべきではないか。

(警察本部長)行政上のメリットはあるものの新たな職員配置、機器の導入など課題が多い。

「だいこんの会」が内閣総理大臣賞 受賞



内閣総理大臣賞の盾と犬丸道比古だいこんの会副会長

早良区小田部校区の青パト「だいこんの会」が10月8日安全・安心なまちづくり関係功労者内閣総理大臣賞を受賞。

「だいこんの会」は、今年で10周年。

全国で初めて青パトを立ち上げた皆さんです。これからも子どもたちや地域の安全のために宜しくお願いします。

私も全力で応援します。



公団住宅の生活、断じて守る！



公明党の木庭健太郎参院幹事長は10月10日、福岡市内で開かれた福岡公団住宅自治会協議会(福自協=山内啓徳会長)との懇談会に出席し、挨拶。

UR賃貸住宅をめぐるのは今年4月、民主党政権の行政刷新会議が事業仕分けで縮減する方向で評決。住民の意思を無視した唐突な同方針に加え、URが今年9月、来年4月から家賃改定を実施したいとの意向を示したため、住民の間に不安が広がっています。

席上、福自協側からは、「事業仕分けでUR賃貸住宅の縮減を結論付けた国会議員たちは、公団の実態を知らなさすぎる」公団の実態は、団地内の世帯の1割弱が75歳以上の高齢者で、その半分が一人暮らし

し高齢者の団地もあるという。

木庭氏は「住宅のセーフティーネット(安全網)としてのURの存在意義は大きい。公明党は公団の皆さまと同じ立場で、URの存続、公共住宅の確保、課題解決に向け全力で取り組んでいく」と、支援を約束しました。

公明福岡県議団

UR 住民の請願に賛成！

公明党福岡県議団は、**福岡公団住宅自治協議会**から県議会に提出された請願、

「UR賃貸住宅を民営化ではなく、国が責任を持つ公共住宅として継続させるよう求める意見書提出に関する請願書、

には、公明党が紹介議員となり、建築都市常任委員会で採択を主張し、継続審議となりました。

本会議では、公明党福岡県議団だけが、「公団住宅の生活を断じて守らなければならない。採択が当然。」として皆さんの請願の思いを届けました。

来春の県知事、県議会、福岡市議会
投票日決まる。【4月10日】

福岡県議選

来春の新定数、選挙区決まる。

未来ちゃん 春野桜子



福岡県議会は、市町村合併や平成17年度の国勢調査の結果を踏まえ議員定数と選挙区の見直しを行い9月議会で決定しました。

新しい選挙区は45選挙区(従来は47選挙区)で、新定数は、88議席から86議席に減員しました。

定数減になった選挙区は、北九州市小倉北区(4から3)同八幡東区(2から1)など。一方定数増になったのは、福岡市西区(2から3)久留米市(4から5)などです。